



三重県が  
取り組むべき

基本的な  
3つの課題

③

労働と家事に割く割合の男女差  
男性の家事・育児参加が  
女性の有業率を変える！

三重県の多くの家庭では、家事・育児を主に女性が担っており、家事・育児に掛かる夫婦間の時間差が大きいです。女性が働き続けることが望まれる一方、家事・育児に対する負担は依然として女性に偏っており、女性が働き続けることを難しくしています。三重県の女性の有業率が低いことの背景には、夫婦間の家事・育児に掛かる時間差があります。

労働と家事に割く割合の  
男女差における課題

三重県では、家事は8割以上、育児は6割以上の家庭で主に妻が担っている状況です(図21)。また、男性が家事に費やす平均時間は1日17分、育児に費やす平均時間は8分で、女性に比べて家事と育児に費やす平均時間は150分少なくなっています(図22)。



図21 家庭における夫婦の役割分担

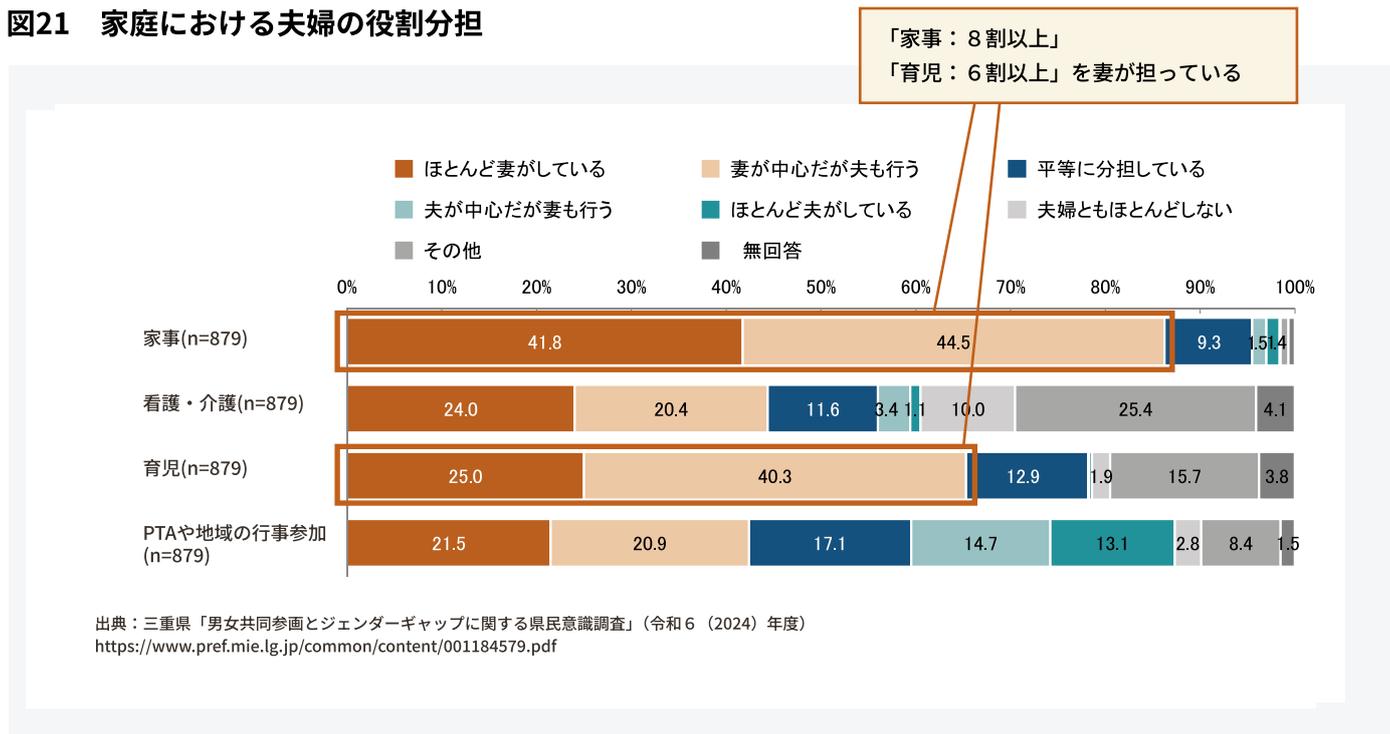
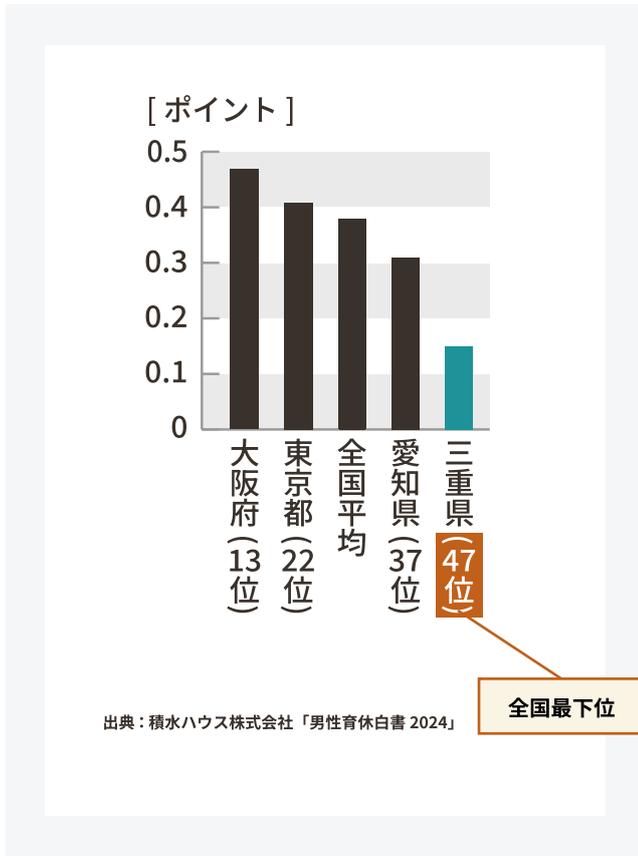


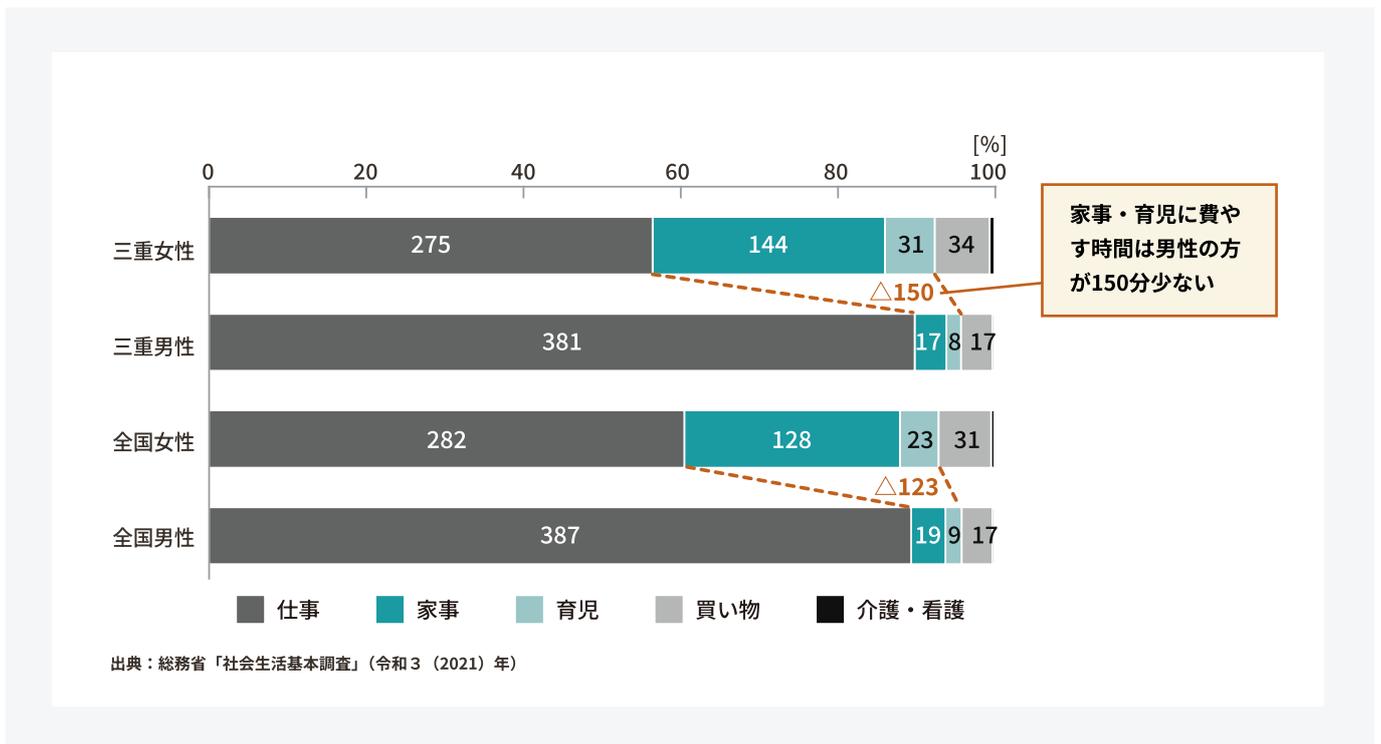
図23 妻から見た夫の家事・育児関与度



この圧倒的な時間の差は、女性に対する不公平な負担を生み出し、全国と比較しても深刻です。さらに、三重県は妻から見た夫の家事・育児関与度<sup>(※7)</sup>が全国最下位と妻が夫の家事や育児への関与を低く評価している家庭が多いです(図23)。つまり、妻は夫が家事や育児を楽しんで積極的に行っているとは考えていないということです。

このように家事や育児の負担が女性に偏ること、結婚や出産、育児を契機として、女性が離職や休職を余儀なくされることが多くなっています。その結果、キャリアが中断される場合や、雇用形態を変更せざるを得ない状況が生じています。夫婦間の家事時間の差と女性の有業率には相関関係があり、家事・育児の負担が女性に集中していることが、三重県における女性の有業率の低さに影響しています(図24)。

図22 各活動に割く1日あたりの平均時間(分)



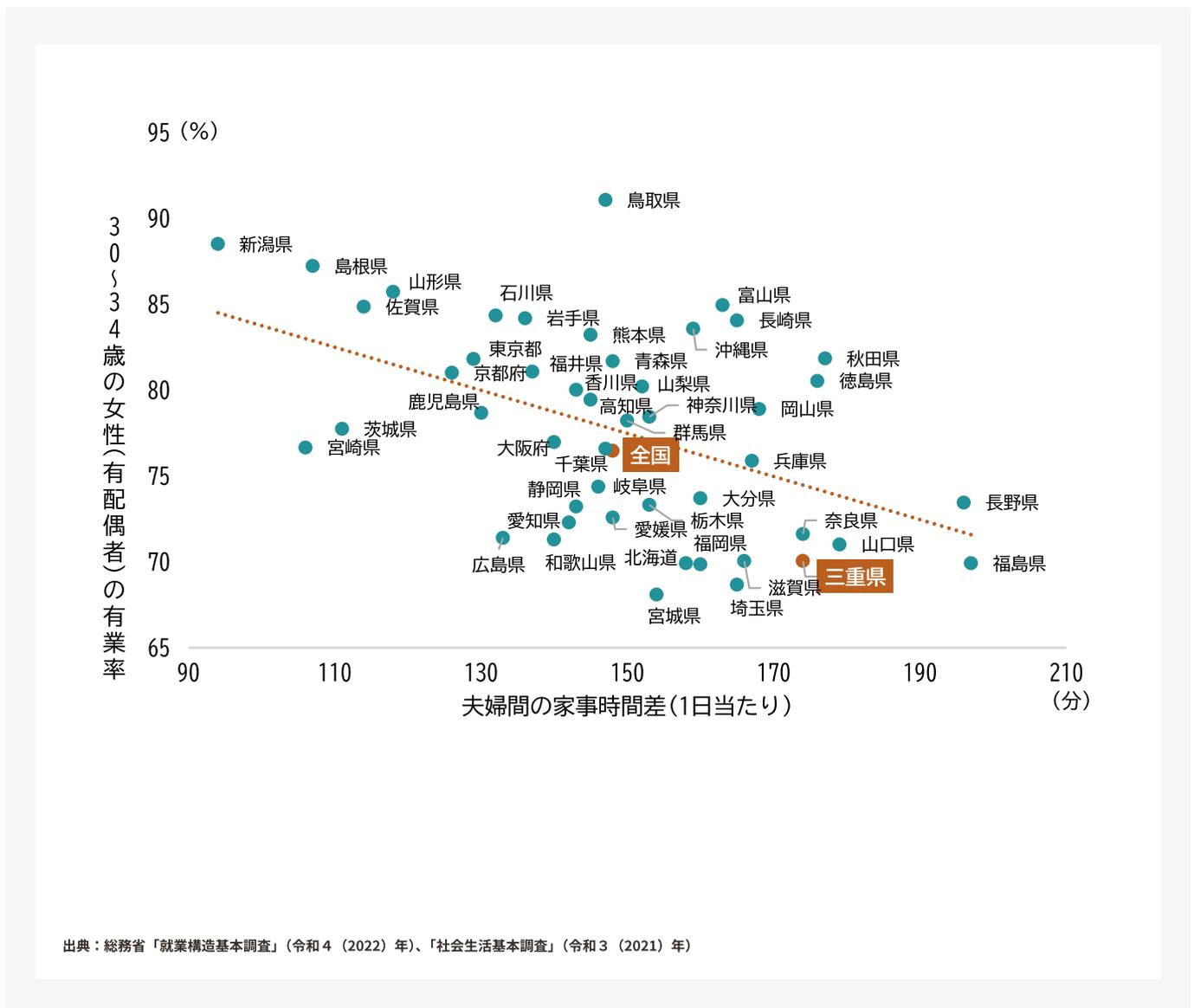
※7 夫が子育てを楽しみ、家事や育児に積極的に関与しているかどうかを妻に聞き、数値化したもの



原因としては、三重県では、夜勤や交代制勤務のある製造業に従事する男性が多く、男性が仕事中心となってしまうこと、世帯収入が全国的にも高く、経済的に余裕があるため、女性が無理に正規社員やフルタイムで働くことを選ばないこと等、家庭内での経済的責任が男性に集中しているためと考えられます。

一方で、若い世代の家庭像は変化しており、夫婦がともに働き、「経済的に互いに支え合う」形が一般的になってきています。また、夫の家事や育児に掛ける時間が長い家庭では、第2子以降の出生割合が高い傾向も見られます(図25)。若者や女性に選ばれる働き方の観点からも、少子化対策の観点からも、男性の活躍の場を家庭にも広げるための改革を進めることが急務です。

図24 夫婦間(6歳未満の子どもがいる世帯)の家事時間差と女性の有業率の関係







## COLUMN

### 「3歳児神話」からの卒業。 誰もが輝ける「共育て」「共同養育」の三重へ

「3歳までは母親が家庭で育てるべき」。このいわゆる「3歳児神話」に対し、実は厚生白書（平成10年版）で既に「少なくとも合理的な根拠は認められない」と明記されているのをご存知でしょうか。

時代は今、一人で育児を抱え込む負担を解消し、パートナーや地域社会が手を取り合う「共育て」「共同養育」へとシフトしています。ここで鍵となるのが、男性の家庭進出です。家庭というもう一つの活躍のフィールドを持つことは、男性自身のQOL（生活の質）を向上させるだけでなく、多様な視点を仕事に持

ち込み、企業の生産性を高める原動力ともなります。

固定観念をアップデートして、誰もが自分らしく、のびやかに輝ける「新しい三重」を、私たち皆で作っていきましょう。



恵泉女学園大学客員教授・  
ジャーナリスト

榊原 智子 さん

## WORKSHEETS



### 企業の声

職場でジェンダーギャップはあまり感じていませんが、気づかぬうちに誰かを傷つけていないか不安です。

認識されにくい職場のジェンダーギャップが  
まだあるかもしれません。  
チェックしてみましょう

アンコンシャス・バイアスを学ぼう動画・  
チェックシート…P52～53



### 県民の声

職場で育児を理由に休みたいと相談することを、  
躊躇してしまいます。家族とどう分担していけばよいか、  
どう話せばよいかわかりません。

日々の家事や育児の項目を洗い出し、  
どうシェアしたらよいか相談できる  
コミュニケーションツールがあります

夫婦が本音で話せる魔法のシート  
「〇〇家作戦会議」…P56

